



しおかぜ通信

八代市立郡築小学校
校長 村嶋 博史



学校教育目標「自ら学ぶ子供」 R7,4,10 No.1

郡築小ホームページ

はじめまして

この度、本校に校長として赴任しました「村嶋 博史」(おらしま ひろし)と申します。明治40年7月10日に開校した歴史と伝統のある本校に赴任できたことを心より嬉しく思うとともに、その責任の重さをひしひしと感じております。また、開校日の7月10日は奇しくも私の誕生日と同日であり、運命を感じております。

さて、今年度の学校教育目標を「自ら学ぶ子供」(詳細は下記をご参照ください)と決めました。この具現化に向け、一人一人の子供としっかりと向き合い、「認め・褒め・励まし・伸ばす」教育を基本として、お子様の可能性を最大限に引き出せるよう、学校総体で取り組んで参ります。

そのためには、当然、ご家庭と地域社会と学校との信頼関係と情報の共有が不可欠です。良いことも悪いことも情報交換できるのことが一番だと思います。「不審」とか「不満」とかになる前に、「疑問」は必ずお問い合わせください。担任もしくは教頭、校長にお問い合わせください。誠意をもってお答えします。また、いじめや体罰についても、少しでも気になることはどうぞ遠慮なくお尋ねください。いじめや体罰は、命に関わりますし、不登校となっては教育を受ける権利を奪うという、あってはならないものです。加害者のことを考えましても、根絶しなくてはならないと考えております。

そういう信頼関係と情報の共有がなされた上で、学校では「お家の方のおっしゃることを聞きなさい。」と指導します。教育の出発点でもあるご家庭で、お子様の将来を見据えたしつけを愛情をもって行っていただきたいと思います。ご家庭では「先生の言われることを聞きなさい。」とおっしゃっていただければ幸いです。

教育は、学ぶ者の意欲と教える側の熱意、そして、ご家庭の協力が一体となった時、最大の効果を発揮します。職員一同、保護者の皆様のご期待に沿うべく、お子様の教育に全力を尽くすことをお約束して、ご挨拶とさせていただきます。

学校教育目標「自ら学ぶ子供」について

校訓「やさしい子 考える子 たくましい子」のもと、学校教育目標を「自ら学ぶ子供」と決めました。

現在、グローバル化や人工知能・AIなどの技術革新の急速な進展や未知なる感染症の流行などにより、予測困難な時代とされています。こうした社会の中を生き抜くためには、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく力が必要とされています。また、このことは現行の学習指導要領やこれまでの本校教育でも進められてきたものです。

本校では、各教科等の学びの中で、習得した資質・能力を活用して、課題解決に生かす場面を効果的に設定し、学校総体で「自ら学ぶ子供」を育てていこうと考えています。

この学校教育目標「自ら学ぶ子供」は、簡単に覚えられる短いフレーズですので、保護者の皆様にも地域の皆様にも覚えていただき、具現化に向けそれぞれの立場からアプローチしていただきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

